

# 保育園に市民共同発電所

## 大阪市のNPO計画 出資者募り東大阪に

自然エネルギーの市民共同発電を普及させて地球温暖化防止を目指す特定非営利活動(NPO)法人「自然エネルギー市民共同発電」(大阪市)が、東大阪市東鴻池町の私立ポツポ第1保育園に太陽光発電所「ポツポおひさま発電所(仮称)」を設置することになり、出資、寄付の協力を呼びかけている。

同法人が保育園の園舎の屋根に太陽光発電のパネルを設置。設置費用約一千万円のうち約半分を新エネルギー・産業技術開発機構(NEDO)と府が補助し、残りについて寄付と出資を募集。出資者には、発電収入から元金を少しずつ払い戻していくシステム。

今回の発電設備は廿九十キロワットで、発電量は年間約一万キロワット。年間約六・九トンの二酸化炭素削減効果が見込まれるという。来年一月に着工し、三月上旬にも稼働する予定。

同法人の事業に協力する同保育園は、発電場所を提供していることを子供たちの環境教育に利用するという。

同法人の代表理事を務める和田武・立命館大学教授は「この取り組みを通じて、社会全体に自然エネルギーの重要性をアピールしたい。保育園の子供たちには自然のありがたさを分かってもらえたら」と話している。

問い合わせは同法人(06・6910・6301)へ。